

茶道裏千家前家元

千玄室さん

×

朝日新聞DIALOG

<http://www.asahi.com/dialog/>

2030年の未来を考える若者たちのコミュニティ



茶道裏千家前家元の千玄室さん(97)は学徒出陣し、特攻隊員となった体験を持つ。戦後、六十数カ国を訪問し、茶道を通して世界平和の実現に向けて活動してきた宗匠にあって「平和」とは何なのか。他人同士でも家族のような場づくりを目指す藤代健介さん(32)、伝統文化を通じて心の豊かさを提案する矢鳥里佳さん(32)と語り合った。

千 今年には戦後75年。沖縄へ慰霊に行ってきた。私も沖縄のどこかの海で死んでいたはずでした。生き残って忤れたる思いです。毎回のことですが、戦友の名前を呼んで拝んできました。

藤代 大宗匠は戦争を体験し、国連などで平和活動をしています。

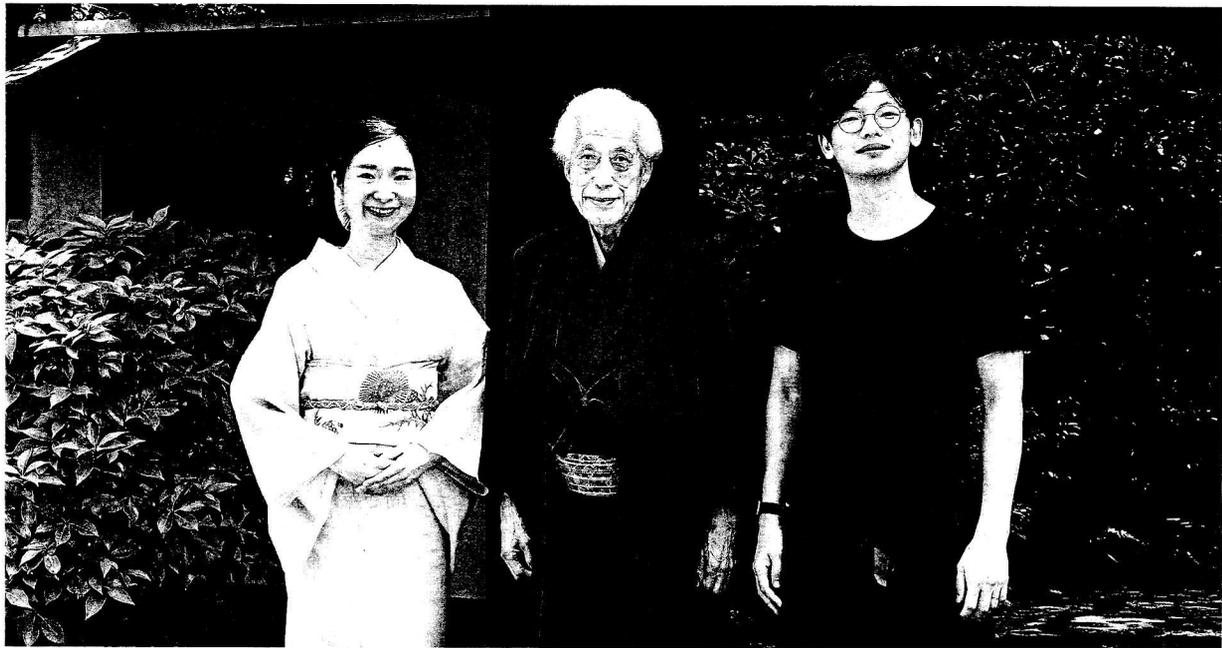
千 私は戦争末期に大学生でした。当時は20歳になると徴兵検査を受けなければならなかった。大学生には徴兵猶予という制度がありましたが、東条内閣に徴兵猶予を取り消されたので、1943(昭和18)年に徴兵検査を受け、海軍航空隊に入りました。45(昭和20)年3月、特攻隊を編成すると言われました。海軍には茶箱を持って行き、配給のようかんを切ってお茶を点てました。戦友たちはそれを飲んで、「うまいなあ。お母さん」と故郷の方を向

穏やかな世の中へ お茶の心で

せん・げんしつ 1923年、京都市生まれ。同志社大卒。64年、茶道裏千家の第15代家元となり宗室を襲名。2002年、家元を16代に譲り、玄室に改名。「一盤(いちばん)からピースフルネスを」の理念を掲げ、茶道文化の浸透と世界平和を願い、各国を歴訪している。

ふじしろ・けんすけ 1988年、千葉県生まれ。慶応大大学院在学中にデザインコンサルティング会社「prsm(プリズム)」を創業。クリエイターが集う場づくりに取り組み、世界経済フォーラムのグローバル・シェイパーズに選出。

やじま・りか 1988年、東京都生まれ。慶応大の学生時代、雑誌の連載で全国の伝統文化・産業の現場を取材。日本の伝統を幼児期から子どもたちに伝えることを目指し、2011年、「和(あ)える」を創業した。



千玄室さん(中央)と矢鳥里佳さん(左)、藤代健介さん=7月21日、京都市上京区、筋野健太撮影

いて叫んだ。その1週間後に出撃が出された。ところが、私には待機命令「さい」と3度も上官に言ったのですが、取り消されませんでした。

藤代 死ぬ覚悟だったのに、生き残る運命だったことには、意味があると思います。

千 今も戦友たちの「お母さん」という声が聞こえてきます。私にとって、戦争は自分が死ぬまで終わりません。海軍に行ったのは国のためではない。家族のために私が死ねば、日本が戦争をやめるのではないかと思っていたからでした。

矢鳥 今はある意味、平和ですが、次の世代に伝えたい大切なことは何ですか。

千 平和という言葉が安易に使うのが嫌なのです。米大統領には、戦いとさえも広島、長崎に原爆を落としたことに「すまなかった」と言っておきました。また、戦争を知らない人たちが口だけで「平和、平和」と言うが、プラカードを掲げて行進しても平和は来ない。平和という言葉を使う前に、自分たちの周囲を見てほしい。親子や夫婦がけんかをし、殺すことさえある。何故そこを省みて、生活から見直さないと。

藤代 おもてなしについては、どう考えますか。

千 世界中を回ってきて思うのは、日本人は心の中に「情」という優しさを持っているということだと思います。万葉集を讀んでほしい。舒明天皇は、民が豊かで穏やかで、ご飯を炊く煙が立ち、鷗がのどかに飛んでいることを詠んだ。それが日本の心です。若い人にもっと日本の古典を知ってもらいたい。万葉集には人の情け、心の深さが詠まれています。

矢鳥 心の豊かさとは何でしょう。茶道を始めとした、日本の文化

が心を豊かにするために必要ではないでしょうか。

千 野の花を持ってきて、ちょっと花入れに挿してみよう。掛け軸をかけてみる。そうすると心の中に泉が湧いてくる。コロナで立ちこもっているでもイライラせずにいられる。そしてお茶を「どうぞ」と人に勧めてみる。昔はそうしていた。貧しくても仲良く物を分け合っていた。

矢鳥 生きる力とは、人と助け合ったり、自然と対話して共存したりして、そうした循環を次へつないでいくことではないかと思えます。

千 それが大事。自分たちだけでなく、どれだけ他の人のために生きる心を持つか。それが生きることに必要ではないでしょうか。

藤代 地球全体が「戦国時代」とも言える今、世界を回り、政治指導者にお茶を点てる「現代の千利休」の存在が必要だと思えます。

千 それは私が半分くらいやってきた。私が英語で「一番好きな言葉は「after you」です。「お先にどうぞ」と相手に譲ることはお茶の心に通じる。お茶の精神性を伝えることが大事。階級制度のあった戦国時代、みんな平等だよ、差別してはいけないと利休は唱えました。

矢鳥 美意識、美とは何かに関心があります。そのよりどころはどこにあるのでしょうか。

千 人は心の中に田んぼを与えられています。そこに何を植える、どう耕し、成長させるかを考えることが大事。「田」に「心」をつけてみてほしい。「思」。それは思想です。親から与えられた心という田んぼをどう育てるかを考えてほしい。私も、きょう一日、生きていることに感謝し、世界の人が穏やかに仲良く手を握り、助け合っていくことに、「一盤のお茶をもって役立ちたい」と思っています。(構成・大村治郎)